

Chiyoda Times

vol.3

2020年
3月18日



大西 浩文

本社 業務部 主任

「原動力は、使命感と責任感です」。大西浩文は、千代田塗装工業株式会社中途で入社した。現在、本社業務部の主任として、大掛かりな現場を任される日々だ。工期終了が近づくとつれて、日に日に高まるプレッシャーと戦う大西に話を聞いた。

今こそ、チャンス

長年、建築関係の会社で職人として活躍してきた大西は、いつか現場監督の仕事に挑戦してみたいという思いを抱いていた。そして、ある時、千代田塗装工業に勤めていた知り合いから「うちの会社で働いてみないか」と声をかけてもらったのが、転職を考えだしたきっかけだ。ちょうど年齢的にも、職人としての体力の低下を感じ始めていた頃だった。現場と管理という異なる職種に戸惑いもあったが、この機会を逃すまいと新たなステップアップへの道を歩む決意を固める。

そうして縁あって入社することに。以来、現場監督として作業員への指示やス

ケジュール管理を任されている。

プレッシャーを 力に変える

入社当初は分からないことばかりで、他の現場監督や元請業者の人たちに教えてもらいながら、日々の業務をこなすのに精一杯だった。そんななか、いきなり大仕事を任せられる。それは、姫路市の網干にあるJRの跨線橋、太子陸橋に関わる全9工種を3年間の工期で行うという、非常に難易度の高い大工事だった。

塗装会社だが、この現場では塗装以外の作業も請け負っているため、常に手探り状態だ。2017年に着工した現場は、橋梁の下を21線の線路が通るといって他に類を見ない大規模なもので、すでに大半の工程を終えている。しかし、足場の撤去作業を中心に行っている今が一番の難所だという。

「電車が動かない深夜に、1〜2時間程度のごく限られた時間しか作業ができないのが本場に難しいです」。

さらに万が一、架線に傷でもつければ電車は動かなくなり、作業が遅れが生じ

る。

現場監督として大きな責任を背負い、張り詰めた気持ちで穏やかになる間もないが、このまま無事故で作業が終了すれば、何か達成感が得られるのではないかと期待をモチベーションに変えて前を向く。

現場の鍵は コミュニケーション

難工事と言われる現場をまとめるために一番大切にしているのは、コミュニケーションだ。たとえば、元請業者からの指示は、うまく咀嚼して職人さんたちが気持ちよく仕事に取り組めるように工夫して伝える。

また、現場からの「できない、無理だ」といった意見には、「元請業者との間を取り持つて、中間あたりの落としどころを探しながら交渉する。いずれかの立場の要望をすべて聞き入れるのは難しいが、職人から現場監督になった大西だからこそ、それぞれの思いが理解できるという強みを活かし、誰もが働きやすい環境

になるよう常に心がけている。「私自身、未経験なことが多く、知識が足りないと感じる日々ですが、ありがたいことに経験豊富な上司や先輩に恵まれているので、積極的に声をかけ、教わりながら、どんどん吸収していきたいと思います」。

果敢に挑み続ける

「まずは、今の仕事を無事故で終わるのが目標です」。

現場の責任者として、最後まで気を抜かず職務を全うする。そして、この「千代田塗装工業の未来が詰まった仕事」を無事終えられた暁には、この経験を活かし、次も難しいと言われる工事を現場に取って挑戦できれば嬉しい。

また、この先、仕事の幅を広げるためにも、土木施工管理技士などの資格を取得し、経験だけでなく知識も兼ね備えた現場監督として、これからより一層会社に貢献できればと考えている。大西の挑戦は、まだ始まったばかりだ。



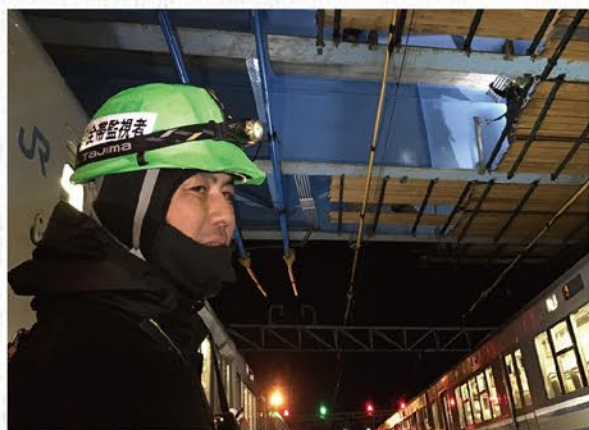
れば始発の電車に影響し、大混乱を招きかねない。そんな事態を決して起こしてはならないという、恐ろしいほどに大きなプレッシャーのなかで、決められた作業量を時間内にこなさなければならぬのだ。作業量に対して、時間が非常に短い。職人さんにも焦りが出てきて事故が起こりやすい環境だという。

2019年暮れから始まった足場の撤去作業は、これまで順調に進んでいる一方で、そろそろ慣れが生じてくる頃でもある。一番事故が起こりやすいこの時期を乗り切るために、常に初心に戻る気持ちで作業に取り組むよう、職人さんたちへの注意喚起は怠らない。今のところ無事故を継続出来ているので、このまま順調に進めていくことを目標としている。

企業情報

- ◆ 設立年：1949年10月
- ◆ 年商：10.8億円
- ◆ 従業員数：24名

※2020年3月時点



インタビューを飾ってくださった

大西 浩文 さんへのメッセージ

巻頭インタビューに登場していただいた大西さんと親しいお二人に、第一印象や思い出などのコメントをいただきました！

自己紹介

大鉄工業株式会社 網干作業所で監理技術者として従事しています、宇津と申します。大西さんとは、工事の着手時から日夜一緒に奮闘しております。

大西さんと着手している

工事の概要

JR山陽本線 網干・竜野間（網干総合車輛所構内）と太子町道沖代線とが立体交差する、太子陸橋の経年劣化に伴う橋梁補修工事です。線路を21線跨いだ上空で作業しています。

仕事を通じて感じる、

大西さんの人柄

何事にも真摯に、一生懸命取り組んでいらっしゃる印象です。持ち前の根性とコミュニケーション能力、人柄の良さで、元請け社員や協力業者社員に信頼されており、当現場の要となっています。



大西さんの第一印象

初めて出会ったときの印象は、「とにかく真面目」です。私が撮影した施工前の写真を、同じアングルになるよう何度も撮り直すようなところや、膜厚測定の方法など教えたことを覚えようとする姿に、一生懸命さを感じました。現在も、そのひたむきな姿勢は変わらないと思います。

大西さんとの思い出

橋梁塗装工事WG（ワーキンググループ）でのエピソードです。加古川橋梁塗装工事の竣工書類を作成した際、私が大阪の自宅、大西さんが姫路の本社におり、電話でやり取りしながら作業を進めました。修正は夜中までかかったのですが、不満な態度を見せることなく、最後まで付き合ってくれました。竣工書類を作成したのはそのときが初めてだったと思いますが、今でも記憶に残っています。

大西さんの良いところ、

アドバイス

真剣に業務と向き合っており、皆さんの模範となる人物だと思いますが、真面目さ故に頑張りすぎるところがあるように感じます。もう少し仲間に頼って、身体を壊さないよう労ってもらいたいものです。

大西さんに メッセージをお願いします！

これからも無事故・無災害で工事を継続し、無事竣工を迎えた際には、皆で笑って美味しいお酒を飲みましょう。今後ともよろしくお願いします。



宇津 貴代志さん にお聞きしました！

金橋 和彦さん にお聞きしました！



ずばり、あなたにとって

大西さんとは？

現場を担当する社員が少ない中、何かをお願いした際には必ず協力してくれる、頼りになる人です。未来の千代田塗装工業に貢献できる存在ではないでしょうか。これからも期待しています。

大西さんの

尊敬しているところ

太子跨線橋の現場が始まる以前は、ときどき業務部の社員で食事をする機会がありました。食事に付き合うだけでなく、会社のことで悩んでいる人の話を親身に聞いてあげていたのが印象的です。人の良さや優しさが伝わってくるところを尊敬しています。

大西さんに メッセージを お願いします！

大鉄工業(株)発注の網干竜野前田跨線橋修繕工事も、残すところ1年を切りました。これまで色々なことがありましたが、一次下請けの現場代理人として、無事故で竣工を迎えられるように頑張ってください。



前期振り返り・来期に向けて



2019年度の決算を迎え、前々期に続き前期も業績は好調でした。

(2019年度請負額約 10.8 億)

塗装工事の大型化、官公庁・既存得意先・新規得意先からの安定した受注、塗装工事以外の土木・建築工事の増加などの要因が挙げられますが、一番の要因はやはり社員の皆さんの頑張りです。

酷暑や厳寒の中においても安全第一の現場管理、官公庁工事の積算能力向上、得意先や協力会社への誠実な対応、即戦力となる人材の加入、などの結果です。

本社においては数年前から人が入れ替わりどうなることかと思いましたが、持ちこたえるどころか逆境をバネに将来に繋がる何件かの新規得意先工事を受注しました。

大阪支店においても既存得意先の仕事の幅が広がり、今まで経験のない工種の現場が増え、受注額を押し上げました。

今期は11億強を請負目標としております。

現在動いている現場は近畿圏だけではなく東北・四国・九州もあり、また官公庁においては全国で入札参加している中、今期も皆さんのさらなる協力が必要になります。「全国どこでも出張に行きます！」と言ってくれる社員がいることを大変心強く感じています。

2019年度安全大会にて安田会長が掲げた「感謝・順応・チームワーク」を実践できれば目標達成は難しくないと考えています。

東京オリンピックや大阪万博の恩恵で建設業界は好景気と言われておりますが、その後は不透明な状況です。我々は今のうちに知識を増やし、協力会社と共に技術力を高め、迫り来る厳しい時代でも生き残る力を身につける必要があります。

社員の皆さんには2級土木・建築施工管理技士、1級土木・建築施工管理技士の資格を取得していただきたいと思っています。資格取得のための講習など、会社からはできる限りのフォローはするつもりですので、まだ取得していない人は今期中に必ず取得するようぜひお願いします。

昨年度に続き今年度もご安全に！



千代田塗装工業株式会社
代表取締役 社長
山下 幸二

